NIE実践報告

1．タイトル：新聞の特徴を生かして書こう　情報を発信する

2．学校名

熊本県球磨郡五木村立五木中学校

3．実践者名（代表者名）

原田ゆかり

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　7人

6．単元（本時の学習課題）名

単元2　社会をとらえる（光村図書）　「卒業新聞をつくろう」

7．目標（狙い）

新聞の特徴に関心をもち、内容や意図を明確にして、読み手が理解しやすい記事をまとめる。読み手に伝えたいことを明確にし、紙面構成を工夫して記事を書く。

8．評価の視点

・伝えたい事実や事柄を具体的に絞って、的確に表現することができたか。
・よりよい紙面作りのための具体的な工夫をすることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞の特徴を生かして書こう（教科書教材：光村図書）［国語：6時間］
未来に向かって（教科書教材：光村図書）［国語：6時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞の紙面構成の特徴と記事の役割を理解する。（2）
②新聞記事の題材を決め、情報を集め、構想メモを作成する。（2）
③新聞の割りつけ、構成を工夫し、卒業記念新聞を作成する。（2）＋（6）　合計12時間

（留意点）
・作成に関してのいくつかの留意点をしっかり把握し、テーマにあった題材を選定させる。
・毎時間の授業の導入で各紙をとりあげ、紙面づくりの参考にさせる。
・トップ記事に関しては、見出し、リード文、本文等の工夫をさせる。テーマによっては、コラム等の形式を取り入れ工夫させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

日頃から新聞のきりぬき新聞やスクラップにとりくんでいたため、興味関心意欲も高く、卒業記念新聞として妥協しない積極的なとりくみがみられた。生徒本人もまた保護者の方も関心が強く、完成の満足度が高い。他学年の反応も良好であった。

12．成果と課題

日頃、読む新聞を自分がオリジナルで作成する苦労を体感し、今後さらに意識をもって新聞を活用する態度が育った。中学校3年間の表現力をさらに集大成するには適切な取組みといえる。
個人差に対応する時間の確保と教育機器のさらなる活用が今後の課題である。